



# 消防学校 ニュース



令和2年8月号

## 消防職員特別教育 水難救助科第28期

### ◆ 水難救助科(第28期)が行われました

令和2年6月30日(火)から7月17日(金)まで、県内11の消防本部から推薦を受けた24人の消防職員が水難救助科第28期生として本校へ入校し教育訓練を受けました。

静岡県は、全長500kmに及ぶ長い海岸線、大小数多くの河川や湖沼を有しており、県内外から多くのレジャー客等が訪れ、全国的にも水難事故の多発県となっており、県下各消防本部にとって、水難救助は大変重要な任務の一つです。

本課程では、学校プールでの基礎的な潜水訓練、富士川での急流河川救助、三保海岸での海洋訓練、そして用宗漁港での総合訓練と、実践的な訓練を行いました。

(担当教官コメント)

近年、局地的な豪雨、台風等による洪水や氾濫が全国的に頻発していることと、夏のレジャーシーズンを迎えるにあたり、これらの災害に対応するため水難救助に関するさまざまな知識、技術の習得を目標に実施しました。

入校中も連日の大雨でしたが、急流河川救助では実際の濁流河川にて実施することでより実践的な訓練を行うことが出来ました。

今後も大雨等による水害が危惧されるなかで、街全体が急流河川現場になる可能性があるということを改めて感じ、水難救助の重要性や難しさを実感しています。

修了生には本課程で習得した知識、技術をこれからの災害現場活動に活かしていただき、活躍されることを期待しています。

教務課主査 中村 一二三 (静岡市消防局から派遣)



富士川での急流河川救助訓練





消防学校のプールでの潜水訓練



三保海水浴場での応用訓練



用宗漁港での総合訓練



担当教官と水難救助科第28期の皆さん

## 初任科スキndaイビング体験

消防学校には長さ 25m、最大水深 5 m のプールがあり、潜水訓練などの水難救助訓練に使用します。

7月 20 日（月）から 3 日間、初任科第 91 期ではプールを使用した実科訓練を行いました。

指導員は、有限会社ダイビングベルのインストラクターにお願いしています。水難事故と対処法、救助法等に関する座学から始まり、実技（セルフレスキュー、事故者救助法、スキndaイビングの基礎等）を行い、水難救助の理解を深めました。

※ 初任科では、安全管理の一環として泳力により帽子を赤、黄、青と色分けをした取組を行っています。

（担当教官コメント）

水難事故現場において、実際に潜水等を行い水難救助活動に従事する隊員は、現場経験を積み、本校の水難救助科を修了し、潜水士の資格を有する選抜された隊員になります。

初任科でプールを使用した訓練を行う目的は、消防吏員は人命救助のプロであり最低限の水難対処能力が求められることにあります。午前は基本泳法、セルフレスキュー訓練で水難事故から自分自身を守る技術を身に付け、午後はスキndaイビング、溺者救助訓練を行いました。

各クラス、最後は 5 メートルプールの底に沈んだ訓練人形を、学生のみで無事に救出成功させました！

教務課主査 田島 貴俊（富士市消防本部から派遣）



基本泳法(セルフレスキュー)



浮力の確保法



プールでのスキndaイビング



溺者救助訓練



# 初任科危険物取扱者試験結果

**至上命令！合格率100% 全員合格めざして気合をいれろ！**

「危険物取扱者」は、消防法に基づく危険物（火災の危険性が高い物質をまとめて指定）を取り扱ったり、その取扱いに立ち会うために必要となる日本の国家資格。

資格取得のための試験は、現在、全都道府県で指定試験機関（総務大臣が指定）である（一財）消防試験研究センターが行っています。

（一財）消防試験研究センター静岡県支部の協力により、6月18日（木）、本校において初任科生を対象とした危険物取扱者試験が実施されました。

（担当教官コメント）

危険物取扱者試験は、全学生が乙種第4類又は他の類を受験します。初任科生にとっては入校期間中初めての国家試験であり、「**初任科第91期至上命令合格率100%**」を目標に、入校直後から学習を始めました。危険物取扱者試験に向けた学習では、『火災のメカニズム』や『消火理論』を十分に学ぶことができ、さらには、広範多岐にわたり利用されている『危険物』に対する知識も習得することができます。そのことから、「危険物取扱者試験」に関する知識を習得することは、災害に対応する消防職員として必要不可欠であるというその本質や、この程度の壁は、難なく越えられる強い精神力と行動力を持ち取り組むように初任科生に伝え、そして私も含めて「One Team」となって今回の試験に臨みました。

第1回模擬試験では合格率が22%でしたが、回を重ねるごとに合格率がアップ。結果は目標は達成できなかったものの、過去最高の合格率で試験を終えることができました。

学生は、試験を通じて集団生活での勉強の難しさ、時間の有効活用等、多くの事を学んだと思います。

また、今回をきっかけに予防技術検定等、消防関係の試験に積極的に臨んでほしいと思います。そして、不合格の学生はコロナの影響で直ちに再受験できませんが初任科修了後に合格を目指してほしいです。

教務課主査 森下 善弘（御前崎市消防局から派遣）

**令和2年度 初任科第91期**

**令和2年6月18日実施、7月7日結果通知**

**<乙種第4類>**（ガソリン、軽油等）

受験者115人 合格者112人 合格率97.4%

**<乙種第6類>**

受験者18人 合格者18人 合格率100%

**【全体】**

受験者 133人 合格者130人 合格率97.7%



本試験満点で合格した学生

**【過去の合格率】**

区分	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	令和元年度	令和2年度
	79期	80期	81期	82期	83期	84期	85期	86期	87期	88期	89期	90期	91期
乙4のみ	54.5%	91.9%	52.2%	53.3%	42.1%	58.3%	72.8%	71.0%	91.6%	94.6%	90.0%	87.0%	97.4%
乙4+各種	58.5%	90.9%	54.1%	55.7%	45.7%	62.5%	74.7%	75.7%	90.7%	94.9%	91.0%	88.8%	97.7%

# 塩崎ぜつ校長

ワンチョット(チョイネタ)コーナー  
今月のつぶやき

夏の夕暮れに思う

私は、ヒグラシの鳴き声を聞くのが大好きである。  
大自然、深い森の中にいるような感覚を味わえるし、なんとなく哀愁を感じるからである。  
最近、休日は、ちょっとした贅沢で、日があるうちにお風呂に入ることにしている。  
お風呂場の窓を目一杯開けて、湯船に腰掛け、目を閉じて耳を澄ますと、  
いろいろなセミの賑やかな鳴き声に混じって、遠くの山々からヒグラシの鳴き声が聞こえる。  
ああ、夏だなあ。この感覚と気分を味わうことが、夏の小さな楽しみ。  
8月も中旬になると、暑さは相変わらずだが、ちょっとだけだが日短くなり、暗くなるのも早くなる。  
空気も気のせい秋の雰囲気を感じさせてくれる。  
わが消防学校の初任科91期の教育訓練も最終段階に来ている。  
全科目、習熟度を確認するための効果測定(いわゆるテスト)、  
消防士として、消防防災の知識向上のための校外研修、  
半年間の訓練成果を披露する実科査閲、そして修了式へと続く。  
4月7日に入校して、約5ヶ月、月日の流れは本当に早い。  
秋は、もうすぐそこまで来ている。

次号は第2回野外訓練の様子をお届けします。  
期待して待っててね!

みんな!  
水遊びは  
気をつけよう!



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町1-577-1  
☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: [fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp)

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

